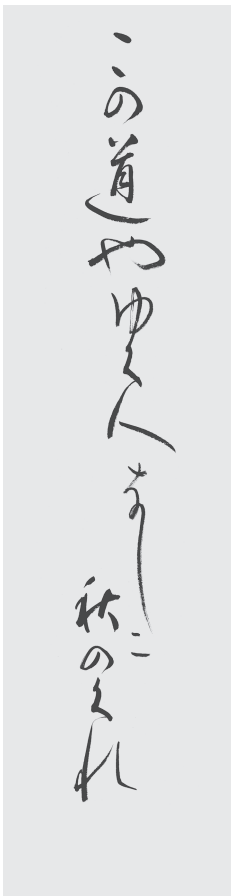
今月の最優秀作品

漢字条幅



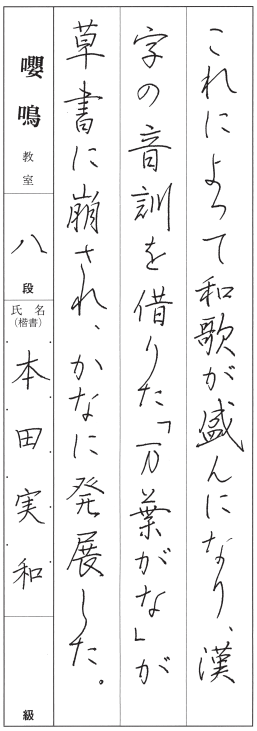
戸倉　**中村　凪紗**　速度が見える書き方で筆勢があり、線質も力強く圧巻の作品。特に陽と樓が見事である。落款の左側に余白が欲しかった。（選評　阿部　湘花）

かな条幅



清月　**中村　綾菜**　滑らかな線の自然な流れが、余白を生かし美しい。穏やかな筆運びで品位高い秀作。落款があればと惜しまれる。（選評　春山　圭子）

ペン



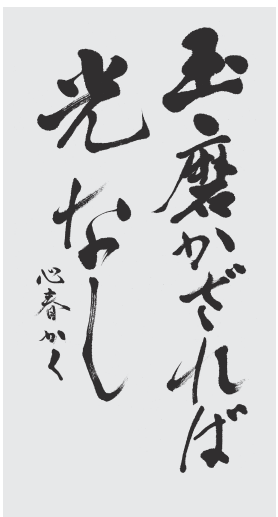
嚶鳴　**本田　実和**　字形を確実に理解し終始伸びやかな線でまとめた。連綿も美しく、漢字とかなのバランスも程良く安定感のある作品。（選評　池田　彩雲）

漢字半紙



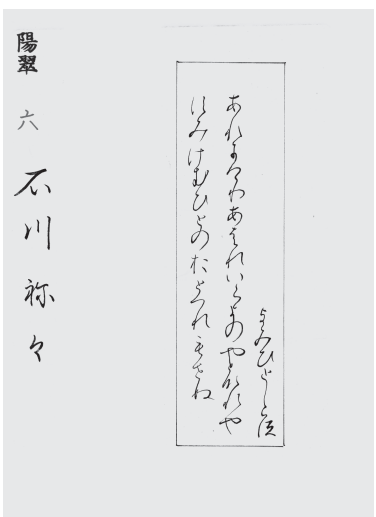
書友　**堀本　夏美**　原帖の特長を深く捉え、筆脈と線の強弱が見事である。誌友にふさわしい日頃の熱心な勉強ぶりがうかがえる立派な作品だ。（選評　尾高早帆子）

新和様



法水　**儘田　心春**　お手本に忠実で漢字とかなのバランスが良い。一行目のかなが力強く、二行目は筆勢のある運筆で見せ場を作った。（選評　井上　螢湖）

かな半紙

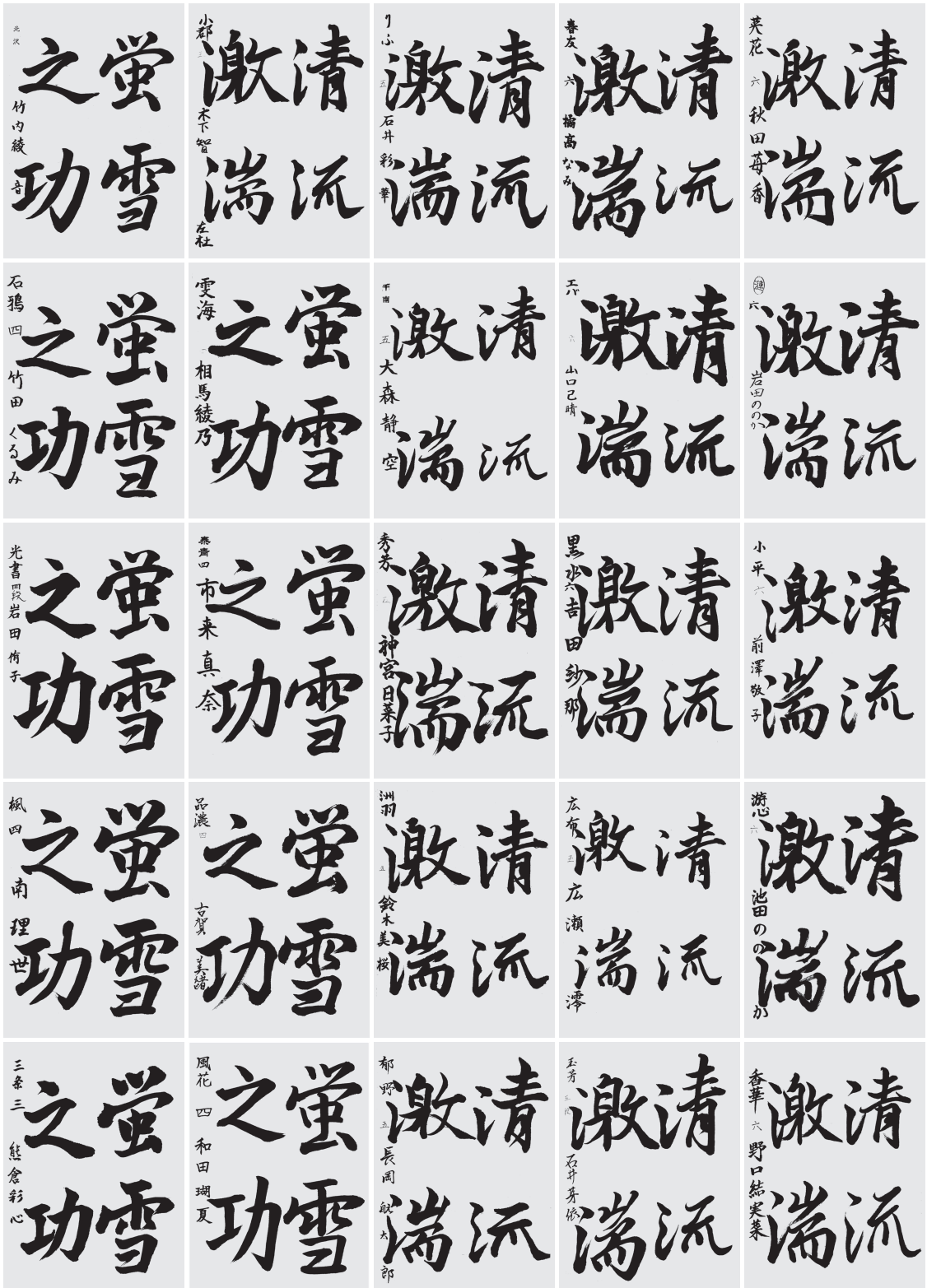


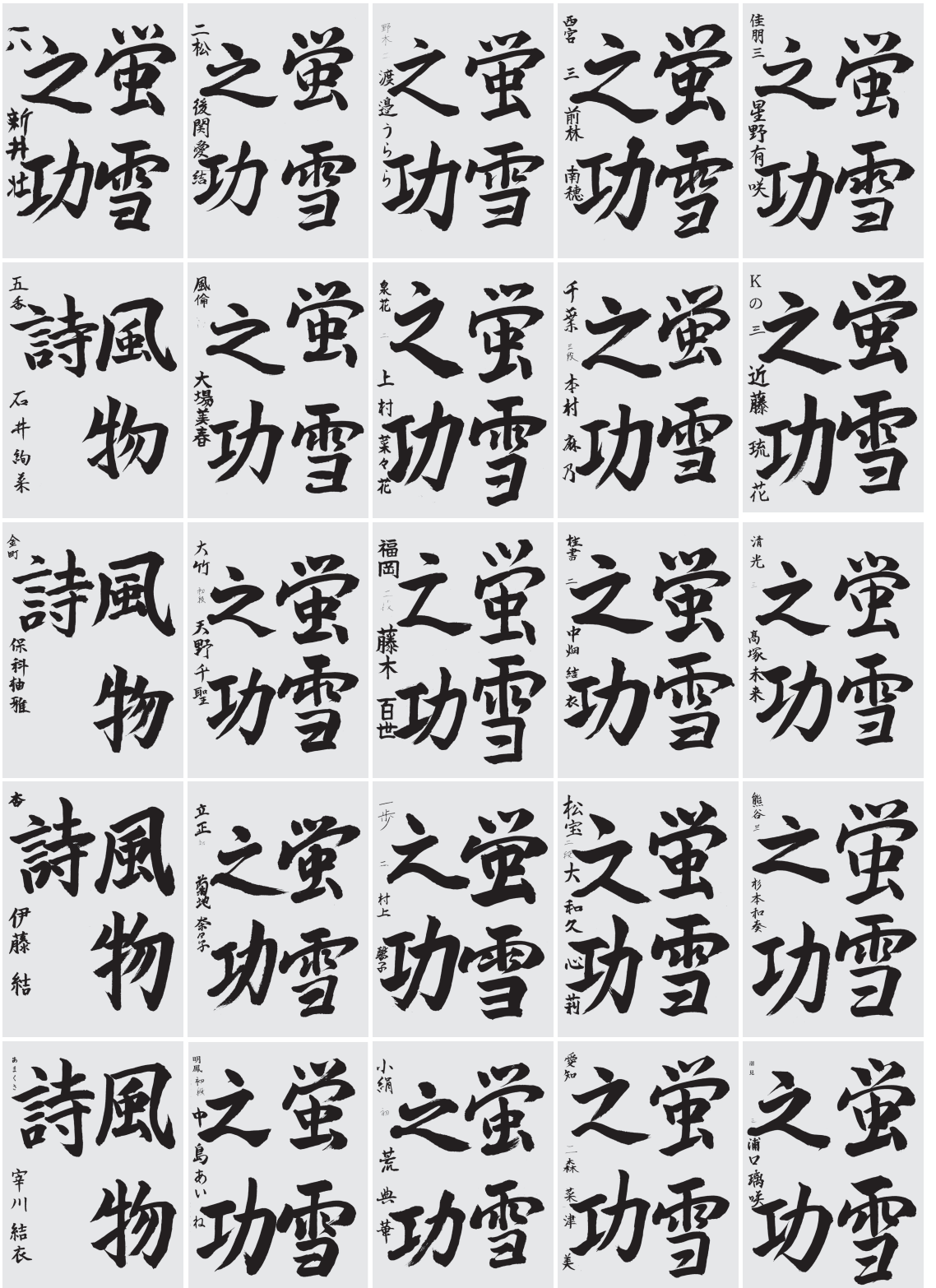
陽翠　**石川　祢々**　墨量少々多めながら丁寧な連綿に思わず目が留まる。筆先の細やかな動き、そして基本を踏まえた確かなリズムが頼もしい。（選評　鈴木　華邑）

12月提出の競書作品の写真版全作品は12月17日（木）より本会ホームページに掲載いたします。

◇今月の優秀作品◇

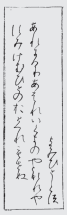

清流
激湍
二和 土門里紗
陽翠 準誌友 三善 なな花
清峰 八 西尾悠里
景水 八 弓野うた
加茂 七 藤村香枝
森山紗菜
松寿 準誌友 高林三久
日峰 八 小巻知花
芳蕾 八 小嶋悠夏
天恵 一 松田栞奈
梅島 準誌友 高木綾子
律 竹谷瞳
顕城 八 山田涼花
久青 七 桜井心結
秀景 七 新貝塾子
玉弥 準誌友 小川瑚子
二宮 準誌友 石川涼楓
双泉 八 星うらら
書楽 七 村山美月
学園 七 池田菜生
高二 木下脩瑛
FF 八 澤田満梨果
青空 八 清水彩花
山谷 二 鈴木空花
稲華 七 宮口千登勢

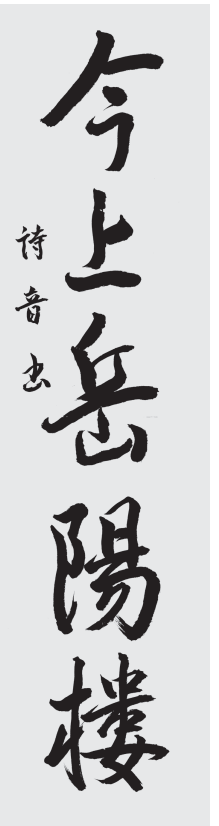

清流激湍
蛍雪之功



蛍雪之功
佳朋三 星野有咲
蛍雪之功
西宮 三 前林 南穂
蛍雪之功
野木 二 渡邉うらら
蛍雪之功
二松 後関愛結
蛍雪之功
一八 新井壮
蛍雪之功
Kの三 近藤 琉花
蛍雪之功
千葉 三段 本村 麻乃
蛍雪之功
泉花 二 上村 菜々花
蛍雪之功
風倫 大場美春
蛍雪之功
五香 石井 絢菜
風物詩
蛍雪之功
清光 三 高塚未来
蛍雪之功
桂書 二 中畑 結衣
蛍雪之功
福岡 二段 藤木 百世
蛍雪之功
大竹 和紙 天野千聖
蛍雪之功
金町 保科 柚雅
風物詩
蛍雪之功
熊谷三 杉本和奏
蛍雪之功
松宝 二段 大和久 心莉
蛍雪之功
一歩 二 村上 馨子
蛍雪之功
立正 菊地 奈々子
蛍雪之功
杏 伊藤 結
風物詩
蛍雪之功
浦口璃咲
蛍雪之功
愛知 二 森 菜津美
蛍雪之功
小絹 初 荒典華
蛍雪之功
明風 和紙 中島あいね
蛍雪之功
あまくさ 宰川 結衣
風物詩

可書五　松山咲月





恵彣　大森　詩音



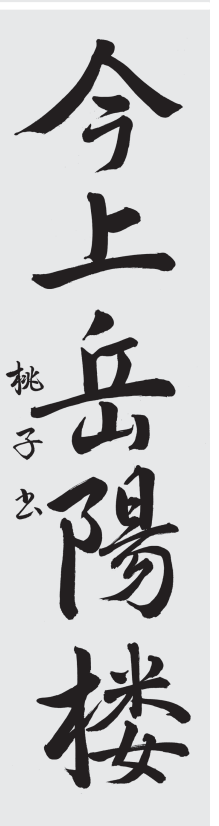
白雪　小泉虎太郎



檜原　小林　史弥



浮羽　堀江　初



梅島　舟崎　桃子



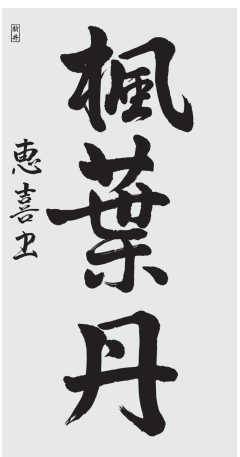
石薬　村林　友果



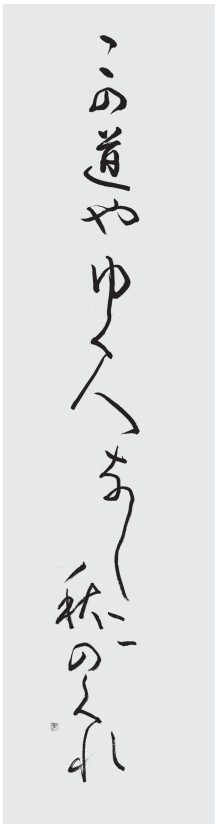
GT　高須　翔大



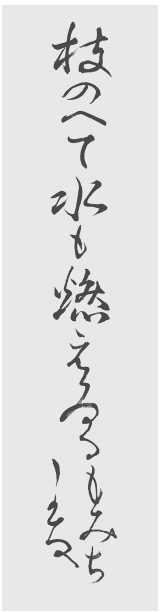
香桜　遠藤　結巳

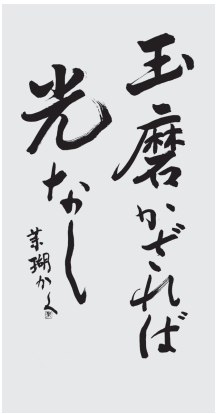


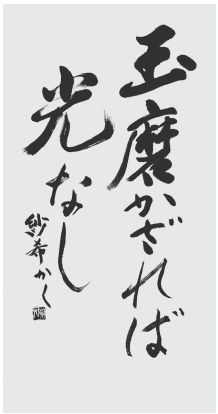
新井　高橋　恵喜


香心　斎藤　茉瑚

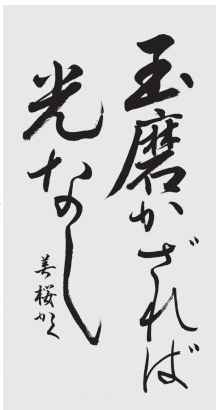

白鳥　星野　健

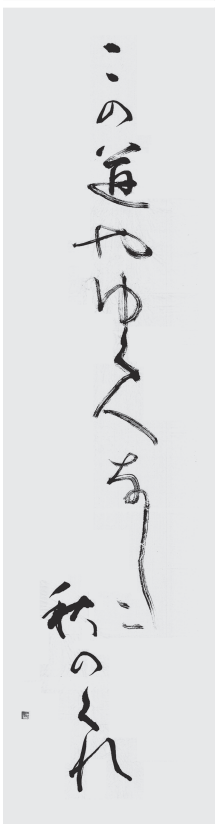

恵彣　百瀬香奈子

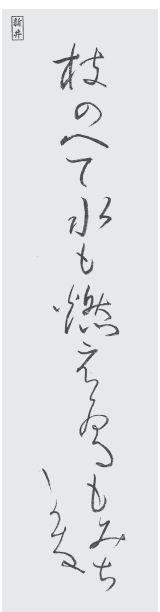

香心　斎藤　茉瑚

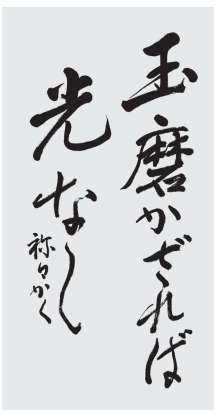

粟丘　市川　紗希

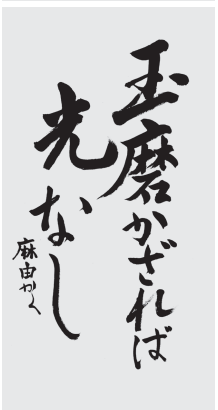

松原　佐藤　由珠

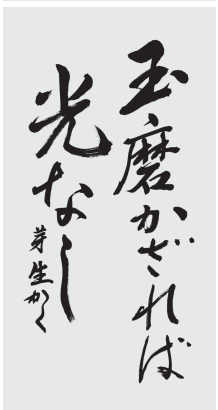

光書　平野　美桜

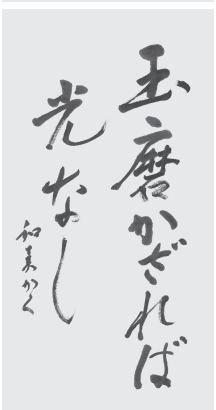

石薬　村林　友果

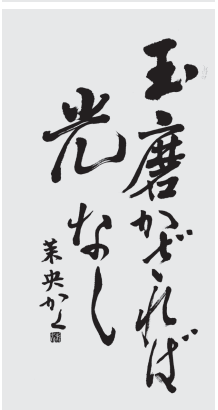

新井　森　優那

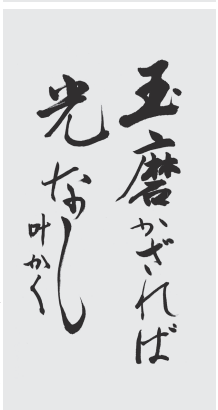

陽翠　石川　祢々

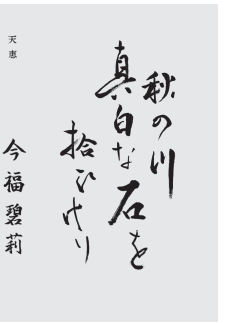

小平　篠崎　麻由

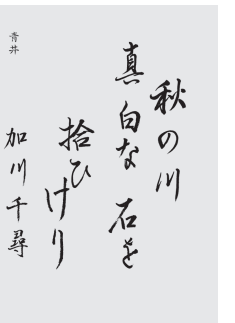

三条　捧　芽生

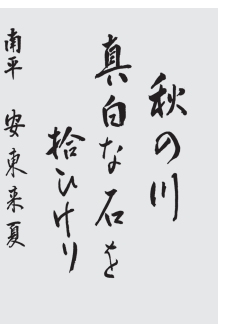

潮来　飯田　和美

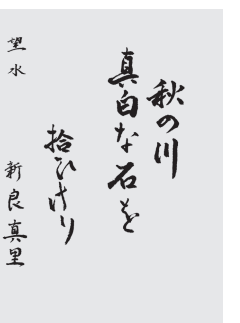

70　金子　茉央

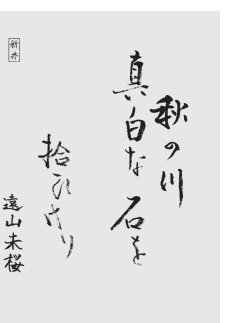

やの　松雪　叶


秋の川
真白な石を
拾ひけり
天恵
今福碧莉

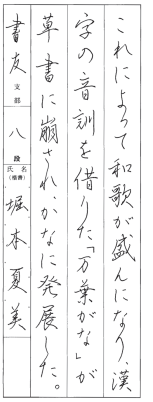

秋の川
真白な石を
拾ひけり
香椎
中村仁胡

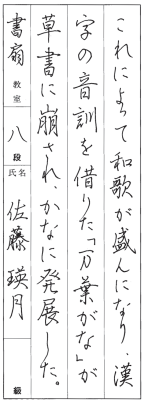

秋の川
真白な石を
拾ひけり
香井
加川千尋

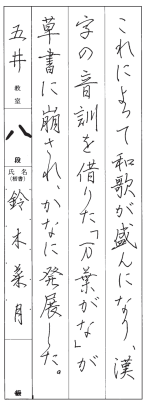

秋の川
真白な石を
拾ひけり
南平
安東来夏

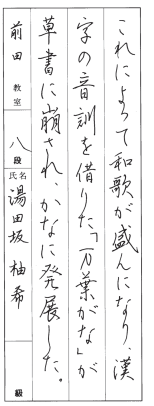

秋の川
真白な石を
拾ひけり
望水
新良真里

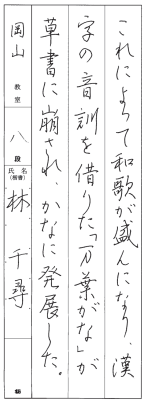
秋の川
真白な石を
拾ひけり
朝希
遠山未桜

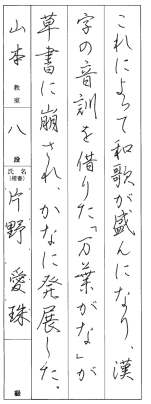

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
書友 支部 八段 氏名(指書) 堀本夏美

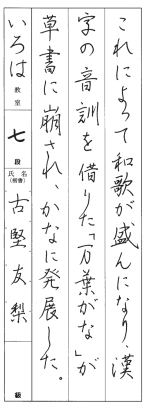

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
書窗 教室 八段 氏名 佐藤瑛月 級

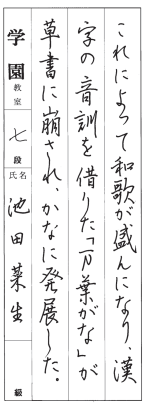

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
五井 教室 八段 氏名(指書) 鈴木茉月 級

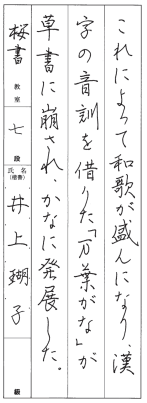

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
前田 教室 八段 氏名 湯田坂柚希 級

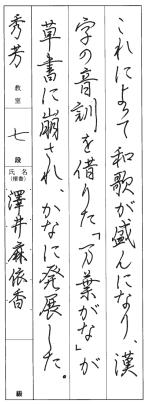

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
岡山 教室 八段 氏名(指書) 林千尋 級

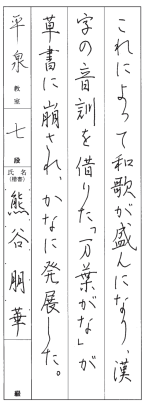

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
山本 教室 八段 氏名(指書) 片野愛珠 級

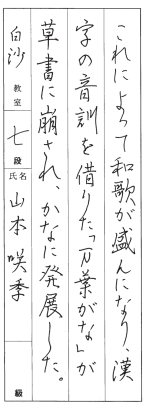

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
いろは 教室 七段 氏名(指書) 古堅友梨 級

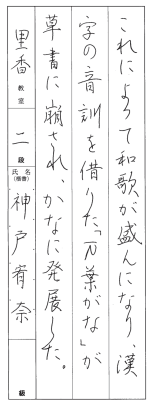

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
学園 教室 七段 氏名 池田菜生 級


これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
桜書 教室 七段 氏名(指書) 井上瑚子 級

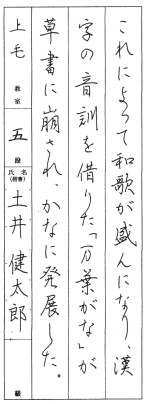

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
秀芳 教室 七段 氏名(指書) 澤井麻依香 級

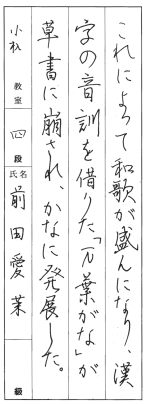

これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
平泉 教室 七段 氏名(指書) 熊谷朋華 級


これによって和歌が盛んになり、漢
字の音訓を借りた「万葉がな」が
草書に崩され、かなに発展した。
白沙 教室 七段 氏名 山本咲季 級


これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
メグ 教室 七 段 大山由夏 級

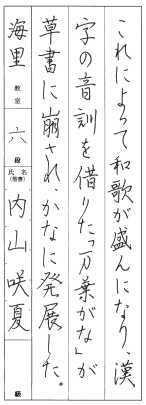

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
祥穂 教室 六 段 千葉翠 級

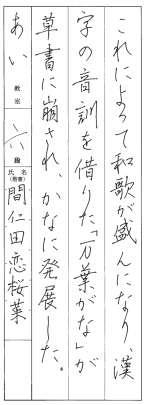

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
上毛 教室 五 段 土井健太郎 級

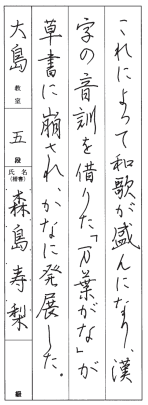

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
小松 教室 四 段 前田愛菜 級

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
かん 教室 三 段 和泉結菜 級

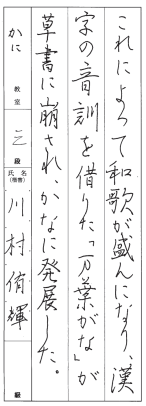
これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
里香 教室 二 段 神戸有奈 級


これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
海里 教室 六 段 内山咲夏 級

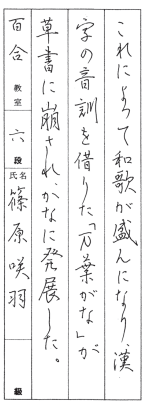

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
あい 教室 六 段 間仁田恋桜葉

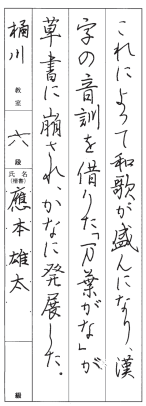

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
大島 教室 五 段 森島寿梨 級

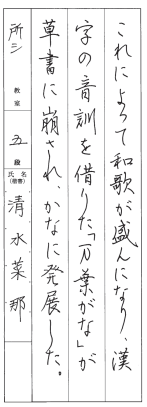

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
祥 教室 四 段 石川美心 級

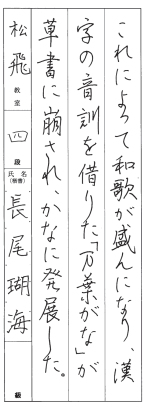

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
かに 教室 三 段 川村侑輝 級

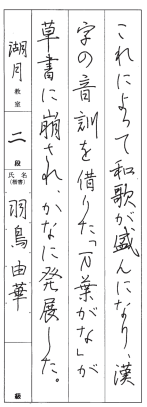

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
小綱 教室 初 段 荒典華 級

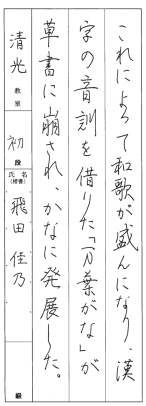

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
百合 教室 六 段 篠原咲羽 級

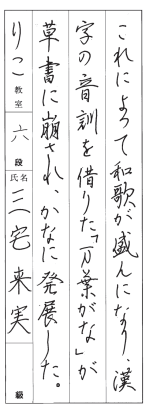

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
楠川 教室 六 段 應本雄太 級

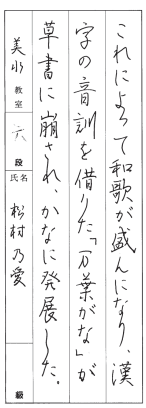

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
所ジ 教室 五 段 清水菜那 級

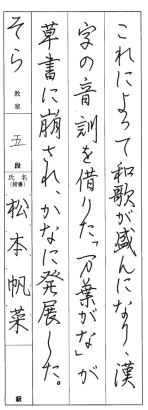

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
松飛 教室 四 段 長尾瑚海 級

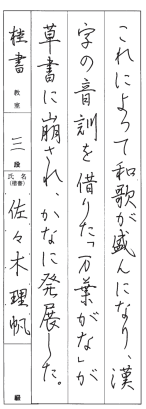

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
湖月 教室 二 段 羽鳥由華 級

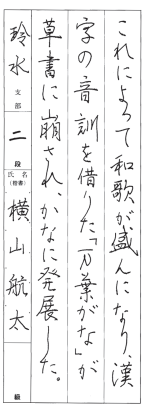

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
清光 教室 初 段 飛田佳乃 級

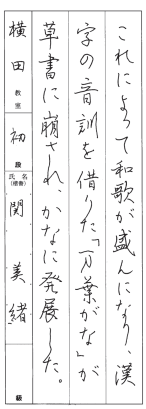

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
りっこ 教室 六 段 三宅来実 級

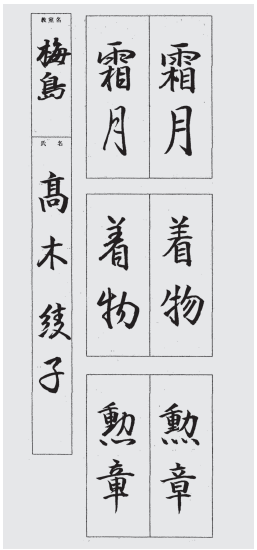

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
美少 教室 六 段 松村乃愛 級

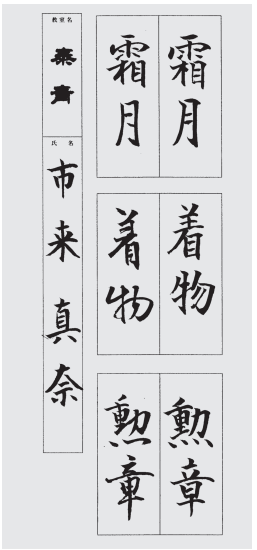

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
そら 教室 五 段 松本帆菜 級


これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
楷書 教室 三 段 佐々木理帆 級

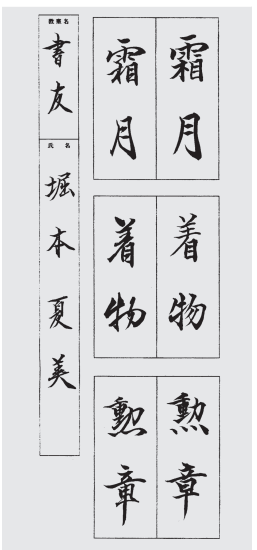

これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
玲水 支部 二 段 横山航太 級


これによって和歌が盛んになり、漢字の音訓を借りた「万葉がな」が草書に崩され、かなに発展した。
横田 教室 初 段 関美緒 級

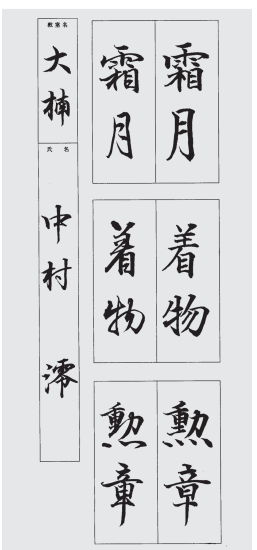

霜月 着物 勲章
霜月 着物 勲章
教室名 梅島
氏名 高木 綾子

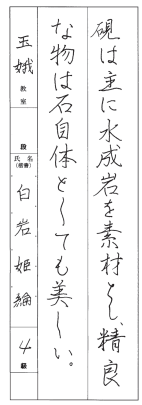

霜月 着物 勲章
霜月 着物 勲章
教室名 素青
氏名 市来 真奈


霜月 着物 勲章
霜月 着物 勲章
教室名 一陽
氏名 二之宮 莉杏

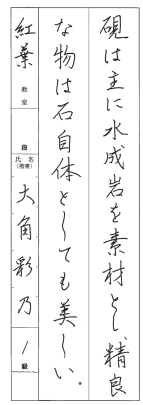

霜月 着物 勲章
霜月 着物 勲章
教室名 書友
氏名 堀本 夏美

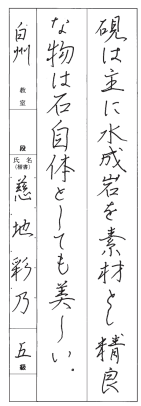

霜月 着物 勲章
霜月 着物 勲章
教室名 光書
氏名 平野 美桜

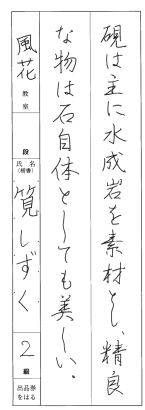

霜月 着物 勲章
霜月 着物 勲章
教室名 大柿
氏名 中村 澪

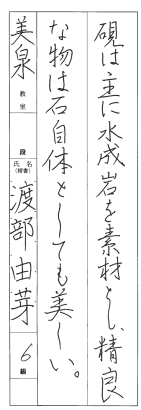

硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
松寿 教室 段 氏名(楷書) 松島葵 1級

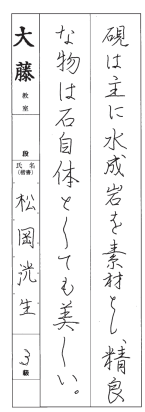
硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
玉娥 教室 段 氏名(楷書) 白岩姫綸 4級

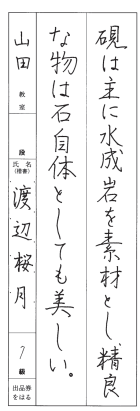

硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
紅葉 教室 段 氏名(楷書) 大角彩乃 1級


硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
白州 教室 段 氏名(楷書) 慈地彩乃 五級


硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
風花 教室 段 氏名(楷書) 覧しずく 2級 出品券をはる


硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
美泉 教室 段 氏名(楷書) 渡部由芽 6級


硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
大藤 教室 段 氏名(楷書) 松岡洸生 3級


硯は主に水成岩を素材とし、精良な物は石自体としても美しい。
山田 教室 段 氏名(楷書) 渡辺桜月 7級 出品券をはる

＜平がな一字書＞


平泉　岩渕　未来


千葉　伊坂　瑠菜


そり　外海　咲喜


菅山　柴田　奈穂


月倫　西尾　ゆい


書友　小野田一葉


品濃　山村　歩未


山玉　寺田　琴音

＜漢字一字書＞


アル　本岡　知夏


潮来　飯田　和美


心　石川　心咲


書友　堀本　春香


いろ　古堅　友梨


入船　照井じゅな


ＩＩ　居軒　綾音


新木　道下　賀葉